取付説明書

ディーズ デコ ティンバー

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく取付けをして頂くために、取付説明書をよくお読みください。

禁止

◆本製品を「防護柵」など荷重を受けるような部分に使用しないでください。
破損して事故につながる可能性があります。
◆本製品にフェンスなどの重量物を取付けないでください。変形・破損の可能性があります。

〈施工上のご注意〉
◆取付けが不十分だと、使用中にはずれる恐れがあります。この取付説明書に従い確実に固定してください。
◆モルタルやコンクリートボンド等の養生は十分に行ってください。
◆製品表面に付着したモルタルやコンクリートボンド等は速やかに除去してください。
◆施工の際には手袋を着用してください。

梱包明細表

・開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
・商品に異常がないことをご確認ください。

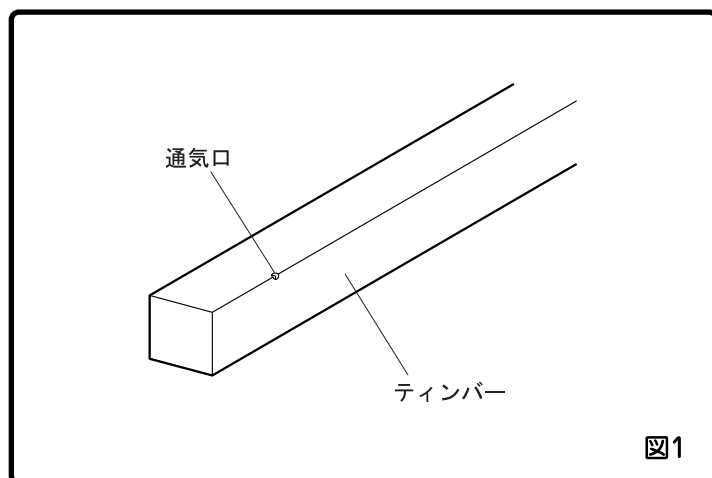
名　　称	数　　量	
	L＝1400	L＝1850, 2100
ティンバー	1	1
取付プレート	2	3
M5×60両切ボルト	4	6
平ワッシャ	4	6

名　　称	数　　量	
	L＝1400	L＝1850, 2100
M5ナット	4	6
取付説明書	1	1
取扱説明書	1	1
保証書	1	1

■施工前に必ずお読みください

1 製品には１ヶ所通気口が設けてあります(図１参照)。
角柱として使用される場合は、通気口側を下にして施工してください。

※ 空気の膨張・収縮による変形を防ぐために、ティンバーには予め通気口を設けていますが、施工時この通気口が埋まってしまう場合は、新たに通気口をあけなおして下さい。

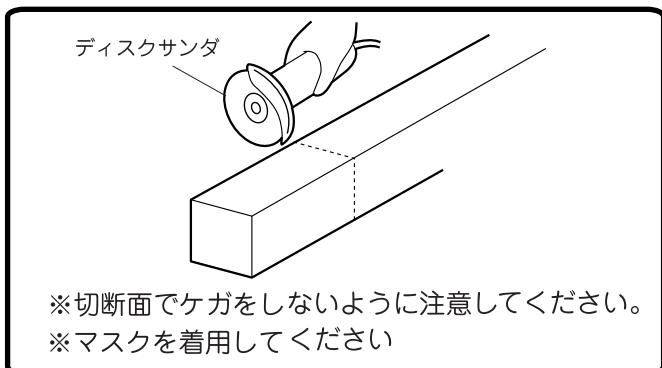
図1

2 切断して２本使いされる場合、この通気口が上部に来ます。目立たない方向に通気口が来る様に、製品の向きに注意してください。

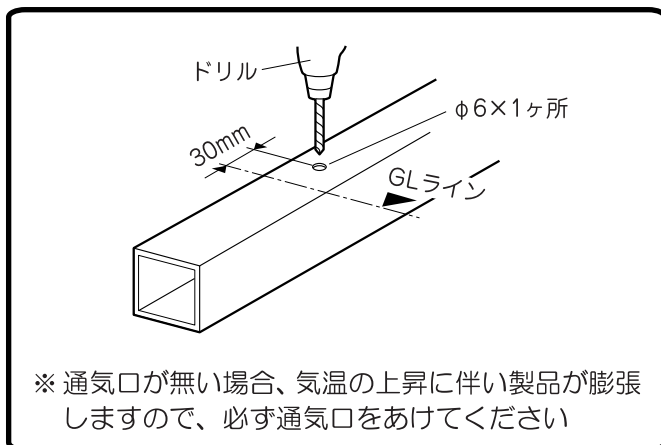
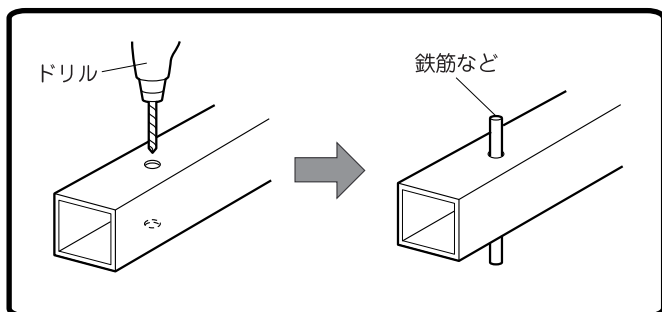
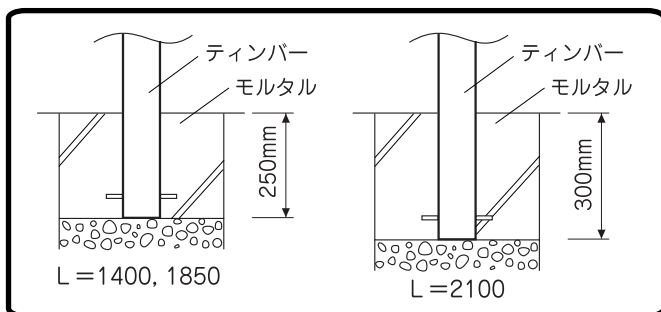
注意 製品１本につき１個の通気口が必要となりますので、施工前に必ずGLより少し上方にドリルでφ６程度の穴を１ヶ所設けてください。

■施工手順

独立柱として施工する場合

1 必要に応じて製品下部を長さ調整のために切断します。切断工具はディスクサンダや金のこをご使用ください。長さ調整が不要な場合でも施工時、製品の浮き上がりを防ぐため底面のフタのみ切断してください。

※切断面でケガをしないように注意してください。
※マスクを着用してください

2 GLラインから30mm上がりの位置に、φ6程度の通気口を1箇所ドリルであけます。

※通気口が無い場合、気温の上昇に伴い製品が膨張しますので、必ず通気口をあけてください

3 モルタルにて埋まる部分に穴をあけ、鉄筋などを差込み抜け止め処理をします。

4 下図にしたがって足もとをモルタルで埋め込み固定します。そえ木などで仮固定してください。

門袖などの壁付けとして施工する場合

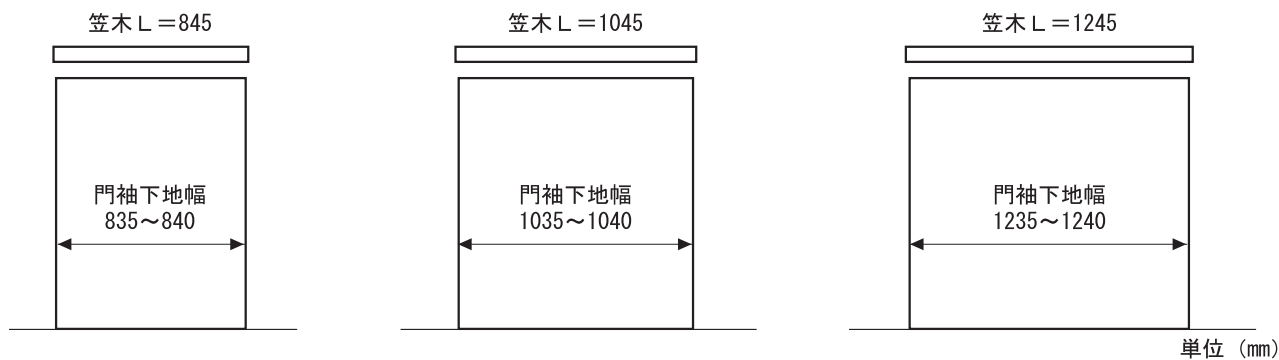
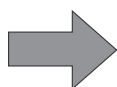
※この説明書は、コンクリートブロック・塗り仕上の門袖を例に、その施工手順を示したものです。

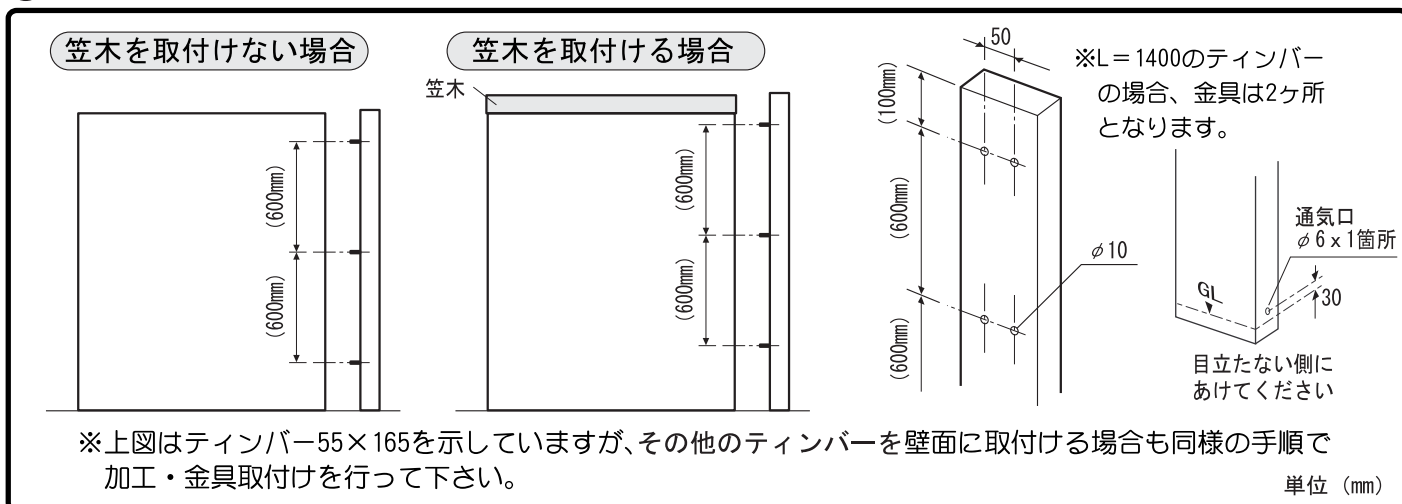
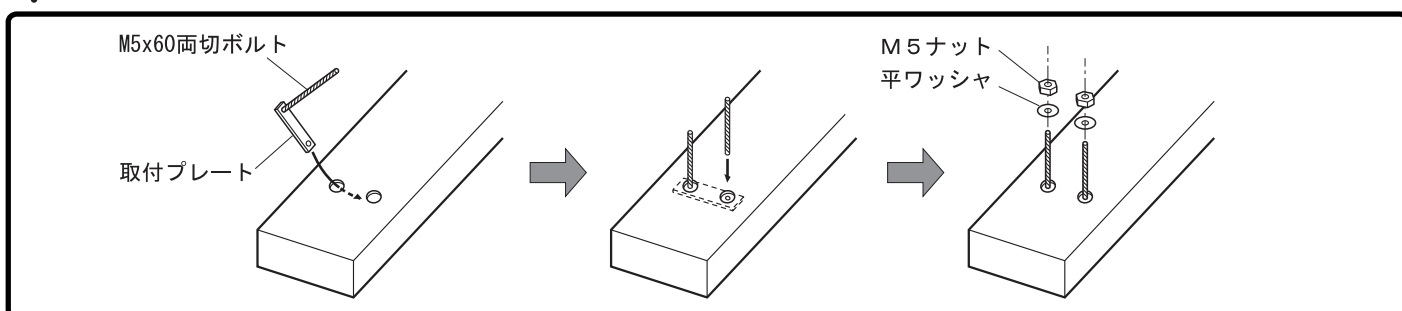
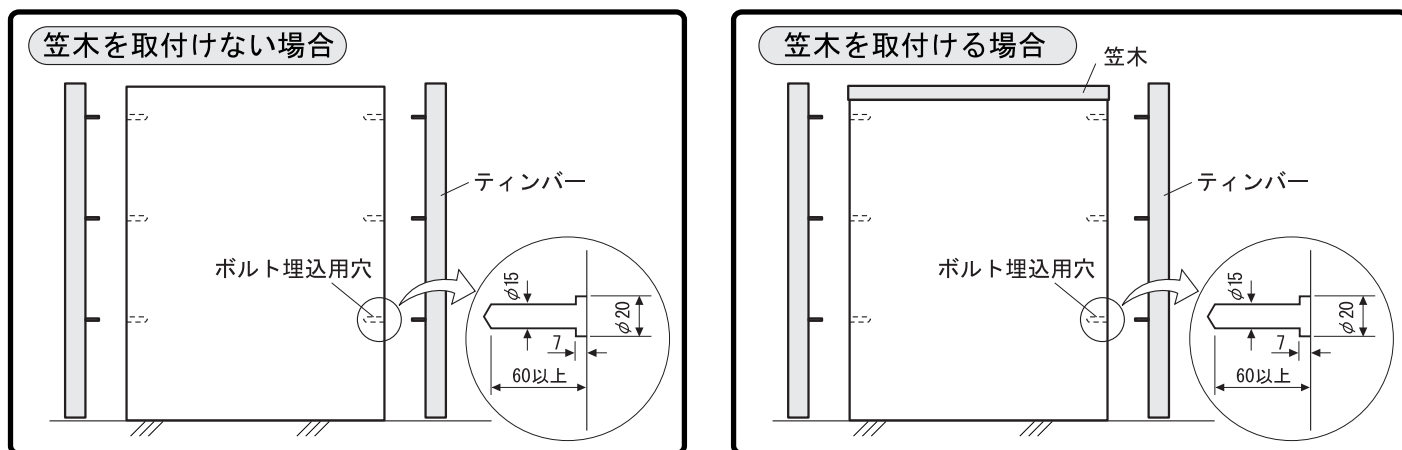
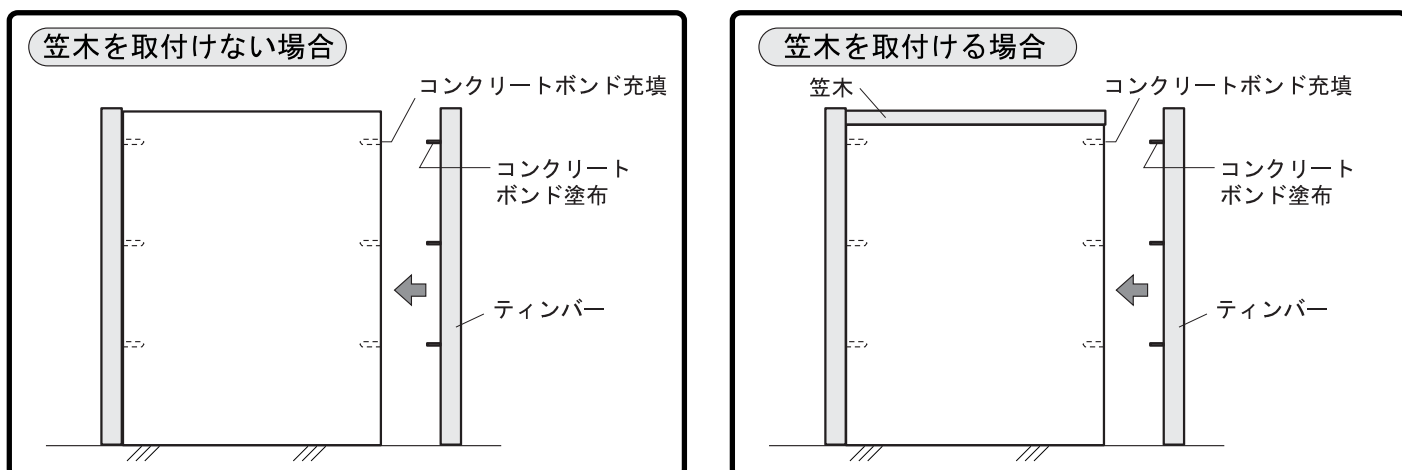
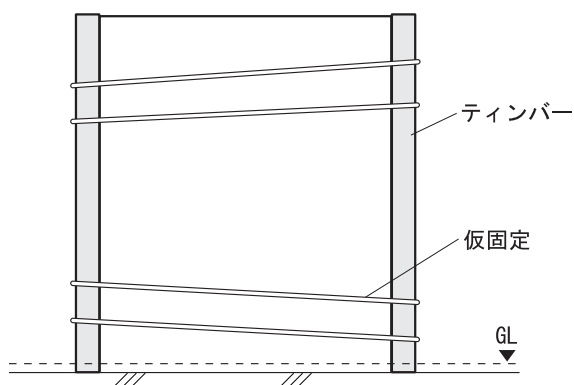
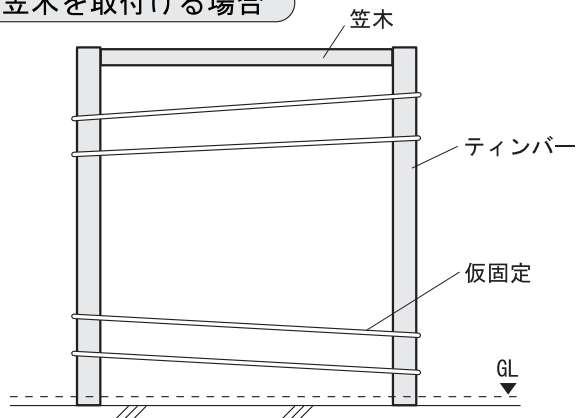
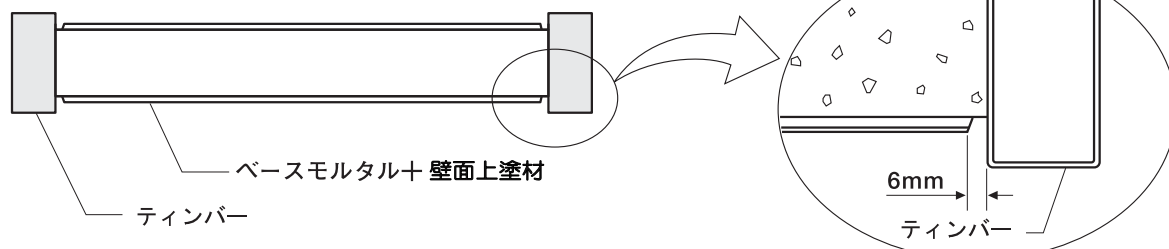
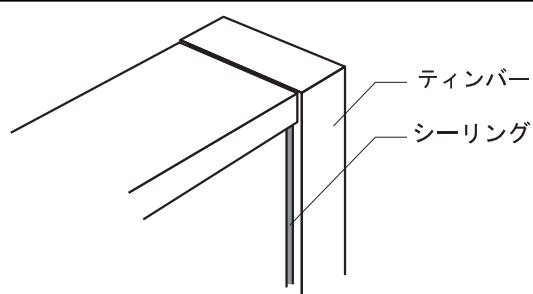
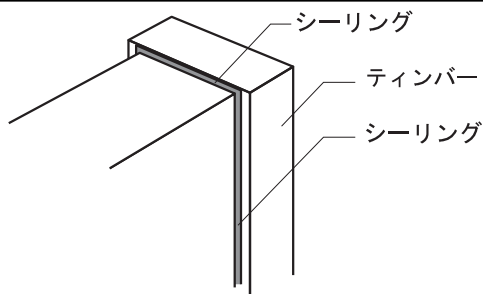
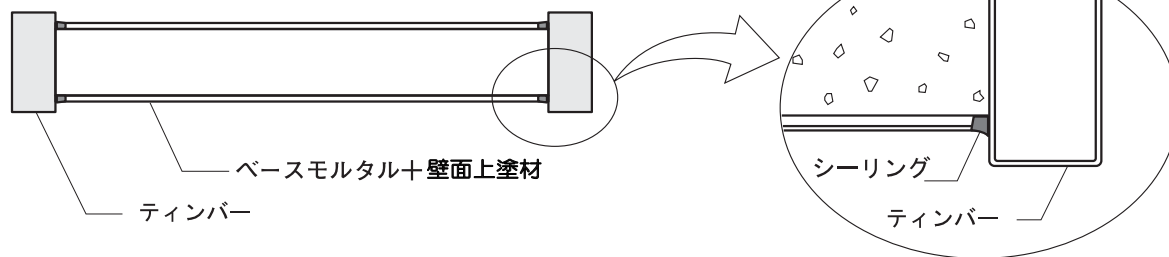
■施工順序

笠木を取付けない場合は省略します

門袖下地硬化 → 笠木取付 → ティンバー取付 → 壁面塗り仕上 → シーリング

1 門袖下地を施工し、十分に乾燥させます。

※注意　同時に「ディーズデコ 笠木」を施工される場合は、笠木の寸法により門袖幅が決定されますので、下図寸法にしたがって門袖下地を施工してください。

2 「ディーズデコ 笠木」を取付ける場合

この時点で笠木の取付を行います。取付け方は笠木の取付説明書に従ってください。

3 ドリルを使用し、金具取付用の穴と通気口をティンバーにあけます。

4 下図の要領で穴に取付プレートを差込み、両切りボルトを立てナットで固定します。

5 取付面にボルト位置をけがき、振動ドリルにてボルト埋込用の穴をあけます。

6 コンクリートボンドを穴の中とボルトの両方に塗ってから、ボルトを穴に差込みティンバー取付位置の微調整を行います。 ※コンクリートボンドは十分に壁側に食いつかせてください

7 コンクリートボンドが硬化するまで仮固定をし、位置ズレを防止します。

8 壁とティンバーの境界に幅6mm程度の目地を取ってベースモルタル、壁面上塗材を施工します。

9 上記が十分に乾燥した後にマスキングを施し、壁面上塗材と同系色の【変性シリコン】でシーリングを行ないます。

工事店様へ

●改造、変更はしないでください。
●取付け終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。

〒601-8317　京都市南区吉祥院新田弐ノ段町45
TEL　075-681-2891　FAX　075-662-1190
ディーズガーデン　株式会社　傳來工房

DSH-IM9
2009.04A